

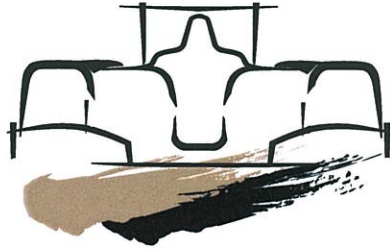
HRC
Honda RACING

Deloitte.



carenex
TEAM IMPUL
**YUHI
SEKIGUCHI**
1st place

carenex
TEAM IMPUL
**RYO
HIRAKAWA**
2nd place



carenex
TEAM IMPUL

Race Report

2022 SUPER FORMULA Round8
2022.8.21 sun

HOSHINO RACING

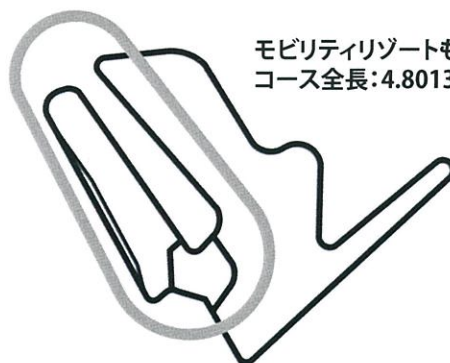
これぞTEAM IMPUL! 14年ぶりのワン・ツーフィニッシュ チームオーダーなしのガチンコバトルで No.19 関口雄飛が2年ぶり7回目の優勝 No.20 平川亮は2位でチャンピオン争いに望みをつなぐ

carenex TEAM IMPUL

No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

No.20 平川 亮 Ryo Hirakawa

8月20日(土)～21日(日)に1大会2レース制で栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催された全日本スーパー・フォーミュラ選手権第8戦で、carenex TEAM IMPULがワン・ツーフィニッシュ。2人のドライバーとチームが完璧な戦略と歴史に残るハイレベルなバトルでTEAM IMPULにとっても14年ぶりのワン・ツーを飾ることができました。



モビリティリゾートもてぎ
コース全長:4.801379km

8月21日(日) 公式予選

天候/晴れ 気温27℃ 路面温度32℃
路面コンディション/ハーフウェット～ドライ

No.19 関口雄飛が9位、No.20 平川亮はリタイアという悔しい結果となった雨の第7戦から1夜明けて青天の下、第8戦が開催されました。予選Q1AグループにはNo.19 関口雄飛が出走しました。10分間の予選開始から3分を過ぎたところでNo.15.笹原右京(HONDA)がコースアウトし赤旗中断。残り6分25秒で予選が再開され、関口は残り4分というところでタイムアタックのためにコースインし1分31秒450をマーク。11台中4位でQ2進出を決めました。

続く予選Q1BグループにはNo.20 平川亮が出走。1分31秒054で10台中6位となり、carenex TEAM IMPULは2台そろってQ2にコマを進めました。

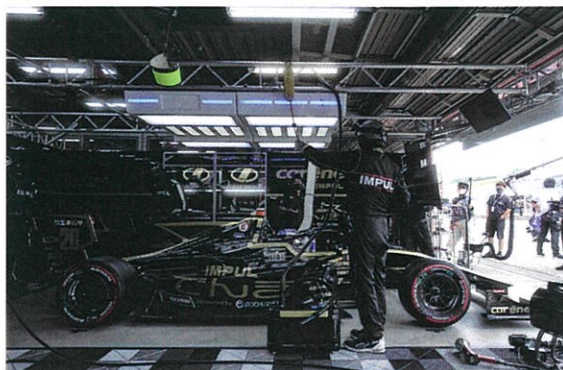
Q2ではNo.19 関口雄飛が真っ先にコースイン。1周でピットインしフレッシュタイヤに交換してタイムアタック。No.20 平川亮は最初からフレッシュタイヤを装着しタイムアタック。2台の戦略は予選の段階から分かれていました。

マークしたタイムはNo.20 平川亮が1分30秒675で6位、No.19 関口雄飛は1分30秒676で7位。2台の差はなんと1000分の1秒。予選の段階から、この2台の決勝での僅差の争いを予感させるものがありました。



8月21日(日) 決勝

天候/晴れ 気温/31℃ 路面温度/45℃
路面コンディション/ドライ
レース距離 4.801379km×37周=177.651km



前日の第7戦とは打って変わって、真夏の天候がモビリティリゾートに帰ってきました。気温は予選の時より上昇し、路面温度は45℃にまで上がってきました。No.20 平川亮が3列目の6番グリッド、No.19 関口雄飛が4列目の7番グリッドからのスタートでしたが、carenex TEAM IMPULの2台は決勝には絶対の自信を持っていました。

午後2時30分にフォーメーションラップがスタート。1周のフォーメーションラップの後、グリッドからのレースが正式にスタートするとcarenex TEAM IMPULの2台はすぐさま1つずつ順位を上げ5位、6位となりました。

オープニングラップの90度コーナーで、No.19 関口雄飛がNo.20 平川亮を抜き、順位を入れ替えます。続く2周目の同じコーナーでは、今度は平川が関口を抜き返し、レース序盤は激しいチーム内バトルからレースが展開されて行きました。2人はチームメイトであるとともにライバルでもあるのです。その二人のバトルにチームオーダーで水を差すことをTEAM IMPULはしません。それがTEAM IMPULのスタイル。星野イズムなのです。

レーススタートから10周、No.19 関口雄飛が真っ先にピットインしてタイヤ交換の義務を消化しアンダーカットを狙います。チームスタッフもその戦略に応え、迅速な作業で関口を再びコースに送り出しました。一方のNo.20 平川亮はステアアウト。ピットインを最適なタイミングまで遅らせてオーバーカットを狙うという、関口とは真逆の戦略を採ることを決めました。

13周目にNo.19 関口雄飛はステアアウトしていた車両の集団に追いついてしまいましたが、関口は難なくこれをかわし順位を上げていきました。16周終了時点ではステアアウトしていたNo.20 平川亮が総合でトップに立ち、No.19 関口雄飛は総合6位となりピットインを行った中でのトップを走行。平川がいわゆる表のトップ、関口が裏のトップという状況でレースは展開していきました。

20周を終了した時点で表のトップNo.20 平川亮と裏のトップNo.19 関口雄飛との差は約20秒。26周目にはその差はほぼ変わらないものの、関口は総合4位に順位を上げていました。そして30周目にNo.20 平川亮を除く全車がピットインしタイヤ交換の義務を消化した時点では、No.20 平川亮が総合1位、No.19 関口雄飛が2位となりチーム内での一騎打ちの様相を呈してきました。

30周を終えたところでついにNo.20 平川亮がピットイン。チームは5.6秒のピットストップで平川を4位で送り出すことに成功しました。平川はここからフレッシュなタイヤでポジションアップを狙いました。

まず32周目の90度コーナーでNo.1 野尻智紀 (HONDA) を抜き3位に浮上。34周目の第5コーナーでNo.5 牧野任祐 (HONDA) を抜き2位となり、carenex TEAM IMPULがついに本当のワン・ツー態勢となりました。

そして、36周目にNo.19 関口雄飛とNo.20 平川亮はテール・トゥ・ノーズの状態になりました。そこから2台はオーバーテイクシステムをお互いに使いながら、ファイナルラップの90度コーナーでは真横に並びかけるまで激しい争いを繰り広げました。その争いを関口が守り切り、彼にとって3年ぶり7度目の優勝を果たしました。TEAM IMPULにとって実に14年ぶりのワン・ツーフィニッシュで、チャンピオン争いに望みをつなぎました。

次戦はいよいよファイナルラウンド。10月29日(土)～30日(日)に三重県の鈴鹿サーキットで1大会2レース制で開催されます。carenex TEAM IMPULは逆転でのタイトルを狙います。

TEAM IMPUL NEXT Race Information

- SUPER GT 第5戦 8/27 (土)～28 (日) 鈴鹿サーキット
- SUPER GT 第6戦 9/17 (土)～18 (日) スポーツランドSUGO
- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第9戦 10/29 (土)・第10戦 10/30 (日) 鈴鹿サーキット

www.impul.co.jp



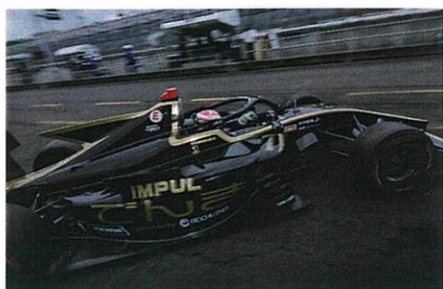
@IMPUL_official



ホシノインパル全開魂



impul_official



監督・テクニカルマネージャー・ドライバーのコメント



星野 一義 監督 Kazuyoshi Hoshino

稀に見るいいレースでした。2人のドライバーは絡むことなく真剣勝負をしてくださいました。チーム全員が素晴らしい戦いをしてくれ、チームインパルの底力を見せることができました。



星野 一樹 テクニカルマネージャー Kazuki Hoshino

これぞチームインパルというレースでした。これまで厳しい戦いが続き、特に2人のドライバーは悔しい思いをしてきたと思いますが、お互いに優勝を目指して戦った結果ワン・ツーフィニッシュすることができました。最終戦までチャンピオンをあきらめずに戦います。



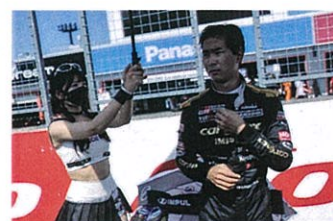
No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

3年間あいたが開きましたが7番グリッドから優勝できてうれしいです。平川選手のペースが良く迫ってきましたが、ここは腕の見せ所だと逆に燃えて気合が入りました。抜かれない自信はありましたが、優勝することができてホッとしています。



No.20 平川 亮 Ryo Hirakawa

第6戦の富士スピードウェイと昨日の第7戦と2戦連続のリタイアでしたので、まずはポイント獲得を意識して走りました。優勝できなかったことには悔しい部分もありますが、6位から2位になれたのは上出来です。タイヤ交換で予想より前に出られたのでチャンスが生まれました。チームに感謝しています。今回は勝てませんでしたが、次の鈴鹿は2連勝して今シーズンを終えたいと思っています。





2022年 協賛会社様 ご支援誠にありがとうございます。敬称略・順不同



8月21日(日) 公式予選

天候/晴れ 気温27℃ 路面温度32℃
路面コンディション/ハーフウェット〜ドライ

Qualifying							2022.8.21
Po.	Gr.	No.	Driver	Team / Engine	Q1	Q2	
1	B	65	大湯 都史樹 Toshiki Oyu	TCS NAKAJIMA RACING HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.628	1'30.313	
2	A	4	サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz	KONDO RACING TOYOTA/TRD 01F	1'31.511	1'30.462	
3	B	1	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	TEAM MUGEN HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.902	1'30.497	
4	B	3	山下 健太 Kenta Yamashita	KONDO RACING TOYOTA/TRD 01F	1'30.895	1'30.582	
5	A	5	牧野 任祐 Tadasuke Makino	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.997	1'30.610	
6	B	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	carenex TEAM IMPUL TOYOTA/TRD 01F	1'31.054	1'30.675	
7	A	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	carenex TEAM IMPUL TOYOTA/TRD 01F	1'31.450	1'30.676	
8	A	64	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TCS NAKAJIMA RACING HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.978	1'30.701	
9	B	55	三宅淳詞 Atsushi Miyake	TEAM GOH HONDA/M-TEC HR-417E	1'30.927	1'30.730	
10	A	53	佐藤 蓮 Ren Sato	TEAM GOH HONDA/M-TEC HR-417E	1'31.677	1'30.750	
11	A	50	松下 信治 Nobuharu Matsushita	B-Max Racing Team HONDA/M-TEC HR-417E	1'31.239	1'30.756	
12	B	7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG TOYOTA/TRD 01F	1'30.995	1'31.412	
13	B	12	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	ThreeBond Drago CORSE HONDA/M-TEC HR-417E	1'31.074		
14	A	39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	P.MU/CERUMO・INGING TOYOTA/TRD 01F	1'31.716		
15	B	38	坪井 翔 Sho Tsuboi	P.MU/CERUMO・INGING TOYOTA/TRD 01F	1'31.097		
16	A	18	国本 雄資 Yuji Kunimoto	KCMG TOYOTA/TRD 01F	1'31.944		
17	B	6	大津 弘樹 Hiroki Otsu	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA/M-TEC HR-417E	1'31.100		
18	A	36	ジュリアーノ・アレジ Giuliano Alesi	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S TOYOTA/TRD 01F	1'31.988		
19	B	37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S TOYOTA/TRD 01F	1'31.323		
20	A	14	大嶋 和也 Kazuya Oshima	docomo business ROOKIE TOYOTA/TRD 01F	1'32.719		
***** 予選通過基準タイム (107% - AGr : 1'37.346 / BGr : 1'36.971) *****							
	A	15	笹原 右京 Ukyo Sasahara	TEAM MUGEN HONDA/M-TEC HR-417E			

Entry:21 出走台数: 21台

車両: SF19 / タイヤ: ヨコハマ

Q1 A.Gr : Start Time : 9:15'00 Finish Time : 9:29'25 B.Gr : Start Time : 9:35'00 Finish Time : 9:45'00

Q2 : Start Time : 9:50'00 Finish Time : 9:57'00

※Q1 A Gr . . . 赤旗提示(09:18'35~09:23'00) [T10での停止車両回収 (# 15)]

Car No.15 : 予選タイム抹消 《2022全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第27条7.「赤旗原因車両」》[裁定時刻: 9:24]

Car No.36 : 罰金 ¥50,000 《2022全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第21条11.「危険なピットアウト」》[裁定時刻: 9:34]

8月21日(日) 決勝

天候/晴れ 気温/31℃ 路面温度/45℃

路面コンディション/ドライ レース距離 4.801379km×37周=177.651km

Race									2022.8.21
Po.	No.	Driver	Team/Engine	Lap	Time	Delay	Gap	Best	B / L
1	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	carenex TEAM IMPUL TOYOTA/TRD 01F	37	59'31.699			1'34.114	15 / 37
2	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	carenex TEAM IMPUL TOYOTA/TRD 01F	37	59'32.642	0.943	0.943	1'34.427	32 / 37
3	5	牧野 任祐 Tadasuke Makino	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA/M-TEC HR-417E	37	59'34.149	2.45	1.507	1'34.697	15 / 37
4	1	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	TEAM MUGEN HONDA/M-TEC HR-417E	37	59'36.412	4.713	2.263	1'34.970	4 / 37
5	65	大湯 都史樹 Toshiki Oyu	TCS NAKAJIMA RACING HONDA/M-TEC HR-417E	37	59'37.684	5.985	1.272	1'35.039	2 / 37
6	4	サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz	KONDO RACING TOYOTA/TRD 01F	37	59'38.921	7.222	1.237	1'35.255	18 / 37
7	53	佐藤 蓮 Ren Sato	TEAM GOH HONDA/M-TEC HR-417E	37	59'39.795	8.096	0.874	1'34.472	30 / 37
8	15	笹原 右京 Ukyo Sasahara	TEAM MUGEN HONDA/M-TEC HR-417E	37	59'46.015	14.316	6.22	1'33.973	31 / 37
9	39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	P.MU/CERUMO・INGING TOYOTA/TRD 01F	37	59'57.414	25.715	11.399	1'35.226	13 / 37
10	38	坪井 翔 Sho Tsuboi	P.MU/CERUMO・INGING TOYOTA/TRD 01F	37	59'57.910	26.211	0.496	1'34.646	32 / 37
11	50	松下 信治 Nobuharu Matsushita	B-Max Racing Team HONDA/M-TEC HR-417E	37	1:00'12.169	40.47	14.259	1'35.454	14 / 37
12	18	国本 雄資 Yuji Kunimoto	KCMG TOYOTA/TRD 01F	37	1:00'14.025	42.326	1.856	1'34.767	14 / 37
13	6	大津 弘樹 Hiroki Otsu	DOCOMO TEAM DANDELION RACING HONDA/M-TEC HR-417E	37	1:00'14.576	42.877	0.551	1'34.831	18 / 37
14	37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S TOYOTA/TRD 01F	37	1:00'14.864	43.165	0.288	1'34.629	20 / 37
15	55	三宅淳詞 Atsushi Miyake	TEAM GOH HONDA/M-TEC HR-417E	37	1:00'15.498	43.799	0.634	1'35.475	30 / 37
16	64	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TCS NAKAJIMA RACING HONDA/M-TEC HR-417E	37	1:00'16.057	44.358	0.559	1'34.660	13 / 37
17	7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	KCMG TOYOTA/TRD 01F	37	1:00'40.844	1'09.145	24.787	1'34.496	33 / 37
18	14	大嶋 和也 Kazuya Oshima	docomo business ROOKIE TOYOTA/TRD 01F	37	1:00'54.916	1'23.217	14.072	1'33.930	17 / 37
以上完走(規定周回数 33Laps)									
	3	山下 健太 Kenta Yamashita	KONDO RACING TOYOTA/TRD 01F	29	1:00'20.834	8Laps	8Laps	1'34.059	26 / 29
	36	ジュリアーノ・アレジ Giuliano Alesi	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S TOYOTA/TRD 01F	26	42'26.451	11Laps	3Laps	1'34.762	13 / 26
	12	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	ThreeBond Drago CORSE HONDA/M-TEC HR-417E	3	7'10.366	34Laps	23Laps	1'36.257	3 / 3

車両: SF19 / タイヤ: ヨコハマ

Entry:21 出走台数: 21台

Fastest Lap 1'33.930 (17 / 37) 184.005 km/h No.14 Kazuya Oshima / docomo business ROOKIE SF19

Start Time :14:33'52 Finish Time :15:33'23

Car No.64 : タイムペナルティ 5秒 (1:00'11.057 + 5sec)

《2022全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第15条1.1》「衝突を起こしたもの」 [裁定時刻: 15:09]

RANKING

Driver ranking

Po	No	Driver	Total	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Rd9	Rd10
1	1	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	113	15	3+20	3+15	3+8	3+11	1+11	11	1+8		
2	4	サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz	81	11		1+8	15	2+20		2+15	2+5		
3	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	79	1+20	15	4	20	4			15		
4	5	牧野 任祐 Tadasuke Makino	55	5		11	1+5	8	6	8	11		
5	37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata	43	6	2+11		2+6	5	8	3			
6	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	38	8	5				3(QF)	2	20		
7	15	笹原 右京 Ukyo Sasahara	37	3(QF)	1+1		4	1	20	4	3		
8	65	大湯 都史樹 Toshiki Oyu	30	4				15	1	1(QF)	3+6		
9	64	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	27			2			2	3+20			
10	38	坪井 翔 Sho Tsuboi	27	3					2+15	6	1		
11	50	松下 信治 Nobuharu Matsushita	21			20	1						
12	3	山下 健太 Kenta Yamashita	19		8	2(QF)			4	5			
13	55	三宅 淳詞 Atsushi Miyake	18	1	6		11						
14	6	大津 弘樹 Hiroki Otsu	17		4	3	2	1+6		1			
15	53	佐藤 蓮 Ren Sato	14	2+2		1			5		4		
16	18	国本 雄資 Yuji Kunimoto	10			5		2	3				
17	7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	8		2	6							
18	39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	5				3				2		
19	12	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	3					3					
20	36	ジュリアーノ・アレジ Giuliano Alesi	3		3								
	14	大嶋 和也 Kazuya Oshima											

Team ranking

Po	Team	Total	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Rd9	Rd10
1	TEAM MUGEN	132	15	21	15	12	12	31	15	11		
2	carenex TEAM IMPUL	113	28	20	4	20	4		2	35		
3	KONDO RACING	91	11	8	8	15	20	4	20	5		
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	70	5	4	14	7	14	6	9	11		
5	TCS NAKAJIMA RACING	50	4		2		15	3	20	6		
6	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	42	6	14		6	5	8	3			
7	P.MU/CERUMO・INGING	30	3			3		15	6	3		
8	TEAM GOH	30	3	6	1	11		5		4		
9	B-Max Racing Team	21			20	1						
10	KCMG	18		2	11		2	3				
11	ThreeBond Drago CORSE	3					3					
	docomo business ROOKIE											

